

名誉会員・会長表彰

2015 年(平成 27 年) 6 月 16 日(火) 会場：大手町サンケイプラザ

【名誉会員】市 村 一 志

(建設部門)



1. 略歴

技術士登録(S53)
日本技術士会入会(H6)
統括本部 日韓技術士会議実行委員会委員(H7～H20)
北海道技術士センター リージョナルステート研究会会長(H13～H18)
北海道支部 幹事(H11～H16)
北海道支部 幹事(会計監事)(H17～H20)

2. 名誉会員に推挙されて

この度、公益社団法人日本技術士会の平成 27 年度の総会において名誉会員にさせていただきました。長年、技術士会の活動に携わることが出来たのは、北海道本部、リージョナルステート研究委員会及び日韓技術士会議実行委員会の皆様のお蔭です。あらためて紙面をお借りして感謝申し上げます。

私は 50 数年間、技術を通して社会活動をしてきました。技術を通してものを観て、技術を通して考え、技術を通して行動してきました。「技術とは何か」「技術はどうあるべきか」「技術を通して事象の本質は何か」、この思考の「くせ？」は一生治らないでしょう。30 歳代初めに「技術は人間の諸事の技」とやっと気が付きました。技術が進化するのも、劣化するのも、関係する人間や人間が作った仕組みが進化又は劣化する結果だと理解できるようになり、今日に至っています。

俳句を始めて 20 年になります。右脳と左脳がバランスよくなるためと考えました。以下、数句挙げて感謝に替えます。有難うございました。

食パンの白くふあふあ敗戦忌
けふもい酒飲めそうだ大根引く
腰かがめ墓洗ひをり父に似し
年金の日なり一束薔薇を買ふ
麻痺の手に初雪のせて頬にあて



イラスト：
市村技術士作成

【会長表彰】高 宮 則 夫

(建設／総合技術監理部門)



1. 略歴

技術士登録(H6)
日本技術士会入会(H15)
北海道技術士センター 防災研究会委員(H7～H12)
北海道技術士センター 防災研究会会長(H13～H18)
北海道本部 幹事(H19～H26)
防災委員会 委員長(H19～H26)
総務委員会 委員(H21～H26)
北海道本部 幹事(会計監事)(H27～)

2. 会長表彰を受賞して

このたび、北海道本部のご推薦により日本技術士会の会長表彰をいただきました。ご推薦をいただいた本部長はじめ関係の皆様に厚く御礼申し上げます。

私は、1994 年に技術士の仲間入りから、職業・年齢を超えた素晴らしい人達との出会いとともに貴重な経験を沢山させていただきました。まさに、技術士が、私の人生を大きくそして豊にしてくれました。

技術士会とは、1995 年の防災研究会創立時に、大島紀房様(現在本部顧問)からお誘いを受け、技術士会活動に入ったものです。2001 年には、初代の能登繁幸会長(現本部長)から会長職を引き継ぎ、昨年まで努めさせていただきました。その間、研究会は実行委員会に改名発展し、全国札幌大会(31、40 回)では、防災分科会を開催し、また、北海道発案で全国防災連絡会議を開催しています。これまでの委員会の幹事・会員皆様の懸命な努力に、心より感謝申し上げます。

今後とも、微力ではありますが日本技術士会の発展に寄与していきたいと思っております。

【会長表彰】花 田 眞 吉

(建設／総合技術監理部門)



1. 略歴

技術士登録(S51)
日本技術士会入会(H11)
北海道技術士センター 防災研究会交通部会長(H7～H8)
北海道技術士センター 事業委員会委員(H15～H18)
北海道本部 幹事(H21～H24)
倫理研究会 代表(H21～H24)
北海道本部 幹事(会計監事)(H25～H26)

2. 会長表彰を受賞して

北海道本部の推薦により会長表彰をいただきました。推薦して頂いた本部長および関係した皆さまに深く感謝申し上げます。

自分の約40年間の技術士活動のなかで最大の転換点は、1995年1月17日の阪神淡路大震災であります。北海道開発局道路管理技術委員会の現地視察団に参加し、交通事情の悪い中徒歩による調査を行いました。その後、センターに防災研究会が設置され交通部会長として参加し、「技術士からの27の提言」を出版したのが最初の技術士会活動でした。

その後、倫理委員会の前身である倫理問題準備会、倫理研究会を立ち上げ、活動理念を「公衆から信頼される技術者になろう」とし、5年間代表として技術者倫理の研究・啓蒙・普及活動を行いました。これは委員皆さまの高い見識と強い行動力に支えられた為であり、その結果、受賞に至ったものと思っております。誠にありがとうございました。

【会長表彰】吉 野 大 仁

(水産／建設／総合技術監理部門)



1. 略歴

技術士登録(H1)
日本技術士会入会(H9)
青年技術士交流委員会 幹事(H3～H6)
青年技術士交流委員会 副会長(H7～H8)
青年技術士交流委員会 会長(H9～H10)
北海道技術士センター 理事(H13～H18)
技術交流研究会 副代表(H19～H20)
技術交流研究会 幹事(H21～H24)
北海道本部 幹事(H19～)

2. 会長表彰を受賞して

このたび、北海道本部のご推薦により日本技術士会長表彰をいただきました。本部長はじめ関係の皆様に厚く御礼申し上げます。

私と北海道本部(当時は北海道技術士センター)との関わりは今から27年前にさかのぼります。平成元年10月13日の金曜日・仏滅・三隣亡という大変な日に「青年技術士協議会(現、青年技術士交流委員会)」がフジヤサントスホテルにて発足しました。45歳以下の若手技術士による交流の場ということで、この年2月に技術士になったばかりの私には非常に興奮する会合でした。毎回、各部門の諸先輩のプレゼンテーションとそれについてのディスカッションは多分野の知識を吸収できるとともに幅広い人脈形成にも繋がりました。私にとって大きな財産となりました。この活動はその後12年間続けることができ、最も印象深い出来事でした。

一方で、その後に技術交流研究会(当時は工業技術研究会)の幹事を仰せつかったのですが、諸般の事情により長年継続してきた研究会を平成24年で終了させることとなったのは非常に残念な出来事でした。

これからも微力ながら日本技術士会並びに北海道本部の発展に貢献していく所存でございます。皆様のご指導よろしくお願い申し上げます。